



須 議員

## グランドデザインの再構築を

町長 都市計画マスタープラン  
見直しの中で

### 旧駅前から全体へ デザインの再構築

**質問** コモレビ、そして宿泊施設が建とうとしているエリアを中心とした様々なグランドデザインについては、旧駅前周辺活性化計画、そして地域商業再生計画がある。

現実的に考えると、今鉄道網の先行きが不透明になり、私たちの生命線を握るのは国道を中心とした道路体系である。この国道沿いの商店街の空きが目立つ状況に対し、かつてにぎわっていたというところで、かつて駅があった場所を中心に計画を練っていく、これが本来にあるべき姿なのか。

**町長** 決してこの旧駅前だけを活性化しようというだけではなく、最終的にはまちづくりの考え方を全体に広げていくということが大事。

**再質問** 旧駅前前の活性化計画、地域商業再生計画は、それに基づいた施設整備が行われ、一旦役目を終え、29年度の都市計画マスタープランを中心に改めて再構

築していくということか。



**町長** おっしゃるとおり。今社会の潮流が非常に速いスピードで進んでいるので、そういう社会情勢もすっかり把握しながら、下川町のまちづくりに向けたデザインを進めたい。

### 子供たちの育つ 環境・ゾーン形成

**質問** 例えば、小中一貫で下川小学校が今の下川中学校の校舎で学ぶということになる、幼児センターと一体的になる。

向かいにスポーツ施設もあり、活用が模索されている総合グランドがある。

例えば、総合グランドを幼・小・中の子供たちが放課後利用するような場所として位置

付ける。幼児も高齢者も対象とした複合施設というようなものも各地で取り組まれている。それがお互いにとって良い関係があるというようなかことで、そういったビジョンを描きながら進めることもできる。

**町長** 教育や子育てのゾーン形成、検討に値する。音威子府村では小中一貫した建物の中で学びが行われている。

都市計画のマスタープラン見直しに当たり、中長期的な展望に立った中でゾーン形成を示していくということは重要。

ご高齢の方などの交流も意図的な機会を、もし実現するとすればコミュニティスクールの中で十分検討していける課題。